

2020年11月25日

聖光幼稚園に おひさま発電所ができました!

せいこうようちえん おひさまプロジェクト

～かみさまのおつくりになった自然を大切にするために～



このたび、90年目を迎えようとしている聖光幼稚園に「おひさま発電所」が完成しました。地域の皆さま、自然を愛する皆さまからたくさんのご支援をいただき、60枚の太陽光パネルと蓄電池設置へと至りましたこと、心より感謝申し上げます。

自然を愛し保全することは、神さまの創造物を守る働きです。幼稚園で環境教育を取り入れることによって、子どもたちの姿はいつも以上に豊かさと光を放つようになりました。未来を担う子どもたち、また共に生きようとする私たち大人が自然環境に責任を持ち、保全し、神さまから祝福されることによって、この世で光の子として歩むことができる世界になりますように願っています。世界では、新型コロナウイルスによるパンデミック、貧困、飢餓、抑圧、戦争、差別で苦しむ人々がたくさんいます。この小さな働きが、持続可能で平和な世界を標榜し、築く一端でありますようにお祈りしながら、神さまと皆さまに感謝申し上げます。

学校法人聖光学園 聖光幼稚園 園長 松山 健作

ごあいさつ

「光の子として歩みなさい」

(エフェソの信徒への手紙 5章 8節)



聖光幼稚園のみなさま、おひさま発電所の完成おめでとうございます。

90年近くの歴史をもつ聖光幼稚園でおひさま発電所設置のお手伝いできたことを、私どもとしても大変嬉しく思っております。

聖光幼稚園では、「光の子として歩みなさい」という聖書のことばを、園の教育の指針とされています。おひさまの光は私たちの生活の基礎です。すべてのエネルギーはおひさまの光によってもたらされます。おひさま発電所は光のエネルギーを電気に変えています。そういう意味でおひさま発電所は、まさに聖光幼稚園にぴったりなのではないでしょうか。

おひさま発電所を通じて、お子さんたちがこれまで以上におひさまに親しんでもらい、環境のことに興味をもっていただけたら、私たちにとっても大変嬉しいことです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド 理事長 松岡 憲司

発電所づくりスタート!

せいこうようちえん おひさま発電所 計画始動!



コロナ禍の不安の中でのスタート、でも地球温暖化は待ってくれません。自然エネルギー普及と原発にたよらない社会の実現、聖光幼稚園ときょうとグリーンファンドの想いは同じ。

スタッフ学習会



「なぜ、おひさま発電所なの?」その意義」と題して、京都府地球温暖化防止活動推進センターの木原さんのお話、地球温暖化の現状と未来に向けて私たちはどうしたらいいのか? 難しい課題ですが、木原さんの軽快なお話に引き込まれます。

環境腹話術



「地球はなぜお熱くなったの?」から始まったハタさん、シンちゃんのお腹話術。劇中の「CO₂がふあふあん……」と車の排気ガスから出てくる様子はとっても印象的でした。

寄付募集ラシ



設置工事



屋根の上の工事は大変。暑いさなか、慎重に工事は進みます。

多くの人に「おひさまプロジェクト」を知ってもらおうと、寄付の呼びかけは全国に……オンライン寄付サイト Give One でも寄付を募りました。



記念にとみんなで描いた絵は、太陽光パネルの裏。大人になってもパネルは電気をつくり続けます。覚えていてね。

点灯式!

受付風景



コロナ禍で、感染予防に気を付けながら集まっていたきました。

礼拝



聖光教会の礼拝堂で厳かに進みます。



園長先生や先生方によるペープサートの上演。聖光幼稚園の始まりから今までのお話です。

点灯



子どもたちの手で、スイッチオン、十字架と祭壇がおひさま電気で輝きました。

エコ宣言・お祝いの歌

「神さまが作ってくれた地球を守ります。」子どもたちの力強いエコ宣言。手話を交えた可愛い歌声も会場いっぱいに響きました。



発電所看板・絵本贈呈



先生方が描いた発電所看板、オリブをくわえた平和の鳩に聖光幼稚園の願いが込められています。

「たくさんのエネルギーを使わなくても豊かな社会がある、それを子どもたちに引き継いでいきたい。」そんな思いを託したきょうとグリーンファンドの絵本です。

挨拶



学校法人聖光学園理事長 宮本 紘明、きょうとグリーンファンド理事長 松岡 憲司(代読) 理事 藤野 正弘より挨拶。

来賓ご祝辞



京都府府民環境部 エネルギー政策課 参事 碓 伸二 様
京都市環境政策局地球温暖化対策室 エネルギー政策企画課長 辻 秀起 様

ミニ講座「これからの時代の、おひさま発電所」



お話は、有限会社ひのでやエコライフ研究所 鈴木 靖文 さん。「みんなで作るおひさま発電所のほうが、メガソーラーよりある意味価値がある。」鈴木さんのお話により「まだまだおひさま発電所をつくり続けなければ……」と気持ちを新たにしました。2050年までに温室効果ガスの排出量実質0を目指すためにもこれからが大事です。

太陽光発電蓄電設備見学



屋根の太陽光パネル、全部で60枚、一般家庭の3~4軒分の電力がまかなえます。

太陽光パネルの発電量、CO₂の削減量などが分る表示モニター、点灯式後、子どもたちも興味津々、毎日見えています。



蓄電ユニット (6.5kWh)。停電時には職員室の明かりがつき、PCや連絡用スマホの電源も確保できます。



聖光幼稚園の普段の保育活動から……



毎年クリスマスには、イエスさまのご降誕をお祝いします。



「せいかつはっぴょうかい」で普段の保育の様子を観て頂きます。



図書館もあるので絵本がたくさんあります。「みんなで読むと楽しいね」



天然木で作られた遊具で毎日遊んでいます。



自然の中で遊ぶことを大切にしています。



「穫れたよー」土を耕し恵みを共有します。



命をいただくことを始め、有機食材を使った食育をしています。



週1回親子で通ういちご組さん。

- この事業は、学校法人聖光学園 聖光幼稚園と認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市左京区にある聖光幼稚園に、市民共同で太陽光発電設備と蓄電設備を設置したものです。
事業費は、市民・団体からの寄付、設置協力金、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、学校法人聖光学園 聖光幼稚園の資金、民間助成金等でまかさないました。
設置後は、聖光幼稚園が環境に配慮した施設となるよう、きょうとグリーンファンドも協力して環境学習を進めていきます。

後援 京都府、京都市、京都府地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人 KES 環境機構、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）、KGPN（旧京都グリーン購入ネットワーク）

協力 日本聖公会京都教区、宗教法人日本聖公会聖光教会、かんよう出版、オフィス泰、認定 NPO 法人気候ネットワーク、認定 NPO 法人環境市民、有限会社ひのでやエコライフ研究所、Fridays For Future Kyoto、太陽ガスグループ、Happy Energy

導入する設備 CIS 薄膜系太陽光発電設備（11.1kW）、蓄電設備（6.5kWh）

発電所データ

設置場所：学校法人聖光学園 聖光幼稚園 **寄付額**：設置寄付金 **837,000**円（104 件）
設置日：2020 年 11 月 25 日 オンライン寄付サイト「Give One」を通じての寄付 311,000 円（32 件）
発電能力：11.1kW **設置協力金**：50 万円（5 件）
発電量：約 11,000kWh / 年 **寄付募集期間**：2020 年 7 月 20 日～2020 年 12 月 15 日
総事業費：約 518 万円

学校法人聖光学園 聖光幼稚園

聖光幼稚園は、1931 年に一人の宣教師ヘレン・スカイルス先生が松ヶ崎の地で小さな学校を始めたことに始まります。山の麓の自然の中で神さまから注がれる愛を豊かに感じる保育を行ってきました。その保育方針は、今も昔も変わりありません。神さまのお創りになった自然と共に共生すること、神さまの愛を感じて生きることが大切です。



そのような保育理念の一環として、地球にやさしい太陽光パネルを設置することになりました。聖光幼稚園に連なる子どもたち、ご家庭、保育者と協力して、積極的に自然との共生について考えていくことができればと思います。

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしをめざし、再生可能エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2020 年 11 月までに 24 カ所のおひさま発電所ができました。



おひさまでんきプロジェクト～あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー（再エネ）で 100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ（新電力会社）がはじめた共同プロジェクトです。太陽ガス（関西地区代理店 Happy Energy）に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ 100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう！

- このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。

学校法人聖光学園 聖光幼稚園

〒606-0942 京都市左京区松ヶ崎樋ノ上町 2
 TEL：075-791-7481
 FAX：075-781-5781
 URL：http://seiko-kindergarten.org/

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）

きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地
 事務機のウエダビル 206
 TEL/FAX：075-352-9150
 E-mail：info@kyoto-gf.org
 URL：http://www.kyoto-gf.org

この印刷物は
 自然エネルギー
 （太陽光）を
 活用して
 印刷しました。

